

市民の安全な生活を守り、

社会活動を支える道路の維持管理

道路維持事業概要

現在、市が管理をしている道路は国県市道あわせて6,768.2kmとなっています。これらの道路を常に良好な状態に保ち、安全性と円滑な通行の確保を図るため、道路施設の維持修繕や日常的な道路パトロールのほか、橋りょう・トンネルの定期的な点検を行っています。



除雪対策事業



国県市道の約4,500kmを対象に毎年度除雪計画を立案し、積雪や路面状況に応じ、車道及び歩道の除雪、凍結防止剤の散布を行っています。

今後も冬期間における安全安心な交通確保を図るため、迅速・効率的な除雪に努めていきます。

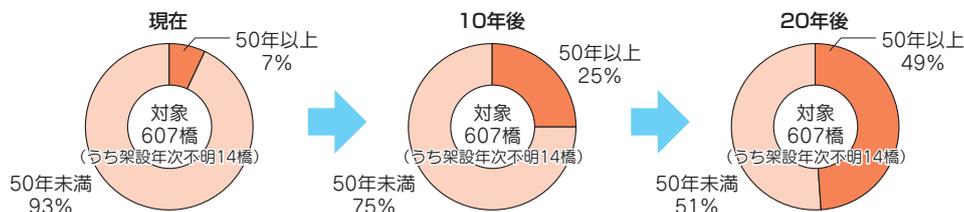
橋りょう長寿命化対策事業

市が管理する橋りょうは4,213橋で、このうち橋長が15m以上のものは607橋となっています。

20年後にはこの約半数が建設後50年以上となり、将来的に架け替え等が集中することによって財政負担が大きくなってしまい、結果として安全性の確保ができなくなる恐れがあります。

そのため、橋りょうの損傷状況や劣化傾向を将来にわたり把握し、費用対効果の高い維持管理を計画的に行うため、平成20年度から「橋りょう長寿命化対策事業」に着手しました。

平成21年度には長寿命化の具体的な手法等について検討するとともに、全管理橋梁に対して初回の点検を完了しました。平成22年度にはそれら全管理橋梁に対して実施計画である「長寿命化計画」を策定します。



自転車利用環境整備事業

近年の環境問題や健康意識の高まりを受け、経済的で地球環境の負担低減に効果が期待できる自転車の利用が見直されてきています。

また、通勤等における自動車依存度の高さ、自転車利用者による歩行者や自動車との接触事故、路上駐輪や放置自転車等が社会問題となってきています。

そこで、本市では、「歩行者の安全確保」、「自転車の交通事故の削減」、「環境にやさしい、健康にも良い自転車利用の促進」を目的に「新潟市自転車利用環境計画」を策定しました。

同計画では、①走行空間計画②駐輪計画③放置自転車対策④啓発活動計画の4つを計画の柱として、取り組みを進めていきます。



(土木総務課)

新潟市の道路整備

拠点性を高める広域道路ネットワークの構築

・(仮称)新潟中央環状道路

(仮称)新潟中央環状道路は、北区、江南区、南区、西区及び西蒲区を環状的に結び、各地域間の交流・連携の軸となり、新潟地域のバランスがとれた発展を目的とした延長約45kmの幹線道路です。

整備状況

供用済	13km
整備中	3km



・高速道路の有効活用

日本海東北自動車道や磐越自動車道の整備を促進することにより、本市の拠点性を高めるとともに、スマートインターチェンジの整備の促進などにより既存の高速道路を使いやすくすることで、一般道の渋滞の緩和に努めます。

- 供用済
 - ・ 豊栄スマートIC (日本海東北自動車道)
 - ・ 黒埼スマートIC (北陸自動車道)
- 事業中
 - ・ 新津西スマートIC (磐越自動車道)
- 計画中
 - ・ (仮称) 新潟東スマートIC (日本海東北自動車道)



豊栄スマートIC

安心・安全で便利な公共交通体系とバリアフリーに配慮したまちづくり

・駅・バス停の利用環境の向上

駅自由通路・駅前広場及びバス停周辺の整備等を行い、公共交通機関の利用環境の向上に努めるとともに、パークアンドライド駐車場の整備を進め、公共交通への転換を促します。

- ・ 矢代田駅周辺地区 事業中
- ・ 巻・潟東インター周辺地区 事業中



JR信越本線 矢代田駅 西口広場

(道路計画課)

新潟市みどりの基本計画

緑豊かで快適な都市を形成していくことを目指して、平成21年6月に策定しました。

基本理念

次世代に誇りを持って引き継ぐ
豊かな水と緑
～新潟らしい風格ある都市を目指して～

目指すべきみどりの将来像

- ①「新潟市の歴史・個性」と「政令市としての風格」が感じられる都市
- ②「まちや集落」など、身近に「みどり」があふれる都市
- ③「みどり資源」が「都市の骨格」として保全・活用されている都市
- ④「みどりの維持・育成」に住民も参画している都市

具体的な取組み

～特にみどりが不足しているまちのみどりについて～

公共空間でのみどりの創出

- ①公共施設緑化の推進
(公共施設緑化ガイドラインの活用)
- ②公園の整備



中央図書館

民間の緑地の保全・緑化の推進

- ①民間緑地の保全に関する制度の活用
- ②保存樹等の指定の推進
- ③市街地整備によるみどりの質と量の向上
- ④まちなかにおけるみどりの創出
- ⑤生垣設置奨励助成や緑地協定制度の活用



生垣設置

市民と協働でみどりの維持管理を図る

- ①緑化活動団体への支援
- ②公園アダプト制度の推進
- ③公園愛護会の充実



信濃川やすらぎ堤チューリップ植栽

(公園水辺課)

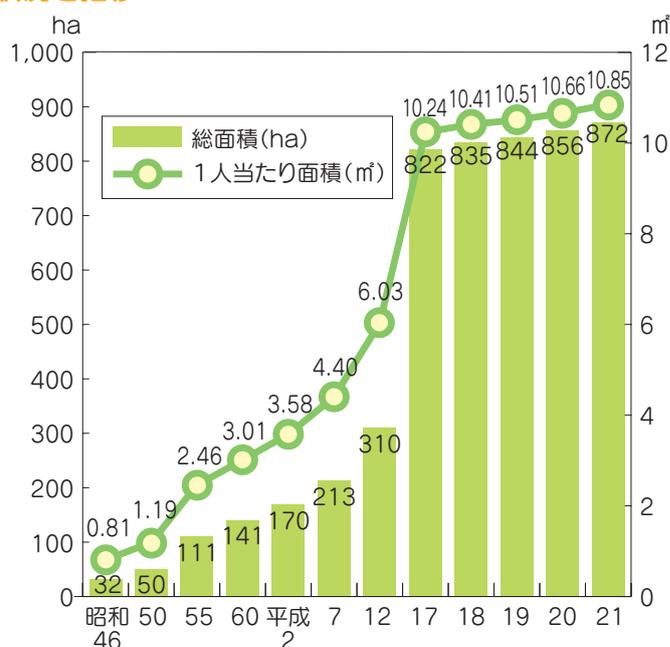
公園の推移と現況

- 明治6年 初代新潟遊園（白山公園）建設
- 昭和31年 都市公園法施行，都市公園等の建設が進む
- 平成10年度 新潟市緑の基本計画策定（合併前）
- 平成16年度 12市町村と広域合併
- 平成17年度 巻町と合併
- 平成19年度 政令指定都市（8区）
- 平成21年度 新潟市みどりの基本計画策定

公園の整備状況と推移

年度	総数			当該年度整備の公園	
	箇所数	面積 (㎡)	1人当たり面積 (㎡/人)	箇所数	面積 (㎡)
昭和46	66	316,330	0.81	14	13,335
50	132	500,837	1.19	30	115,781
55	282	1,110,153	2.46	28	116,799
60	396	1,407,452	3.01	21	68,603
平成2	471	1,704,228	3.58	17	28,966
7	587	2,126,777	4.40	12	45,655
12	706	3,097,170	6.03	16	167,339
17	1,353	8,221,468	10.24	25	252,104
18	1,378	8,353,021	10.41	36	130,427
19	1,413	8,443,845	10.51	42	92,994
20	1,475	8,561,656	10.66	43	38,657
21	1,505	8,719,294	10.85	29	39,710

※新潟市にあるすべての公園が対象



都市公園の比較

(H21.3.31現在)

区分	箇所数	総面積 (ha)	1人当たり面積 (㎡/人)
全国	96,808	114,990	9.6
政令市	25,846	21,070	6.3
新潟市	1,222	690	8.8

※都市計画区域内にある公園が対象

市の花チューリップを活用した取組み

信濃川やすらぎ堤チューリップ植栽



小中学校の児童，生徒たち自らが球根を植え，やすらぎ堤を市の花チューリップで飾り付ける。

萬代橋チューリップフェスティバル



市民が手づくりにより育てた市の花チューリップで萬代橋を飾り付ける。

(公園水辺課)